

ヴァンエック・バイオテック ETF
運用報告書(全体版)

(2023 年 9 月 30 日に終わる年度)

1. 運用の経過

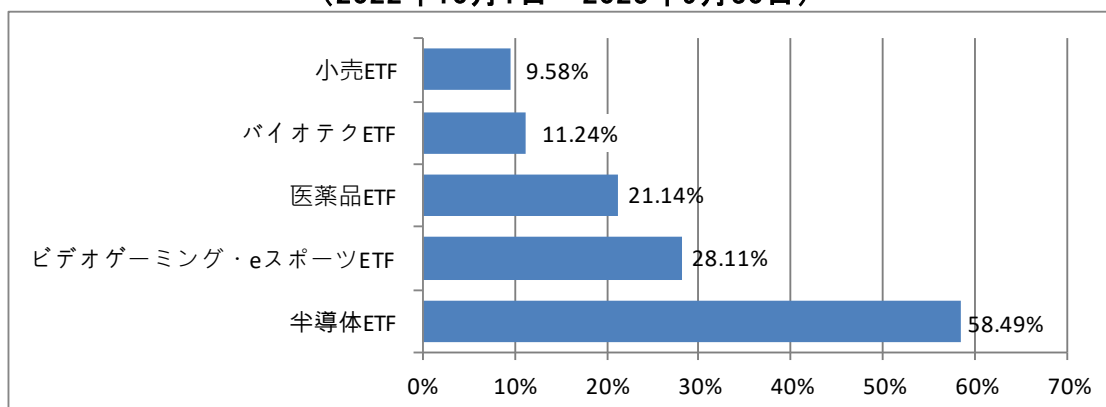
ヴァンエック・バイオテク ETF(BBH) (以下、「ファンド」)は、MVIS 米国上場バイオテク 25 指数(以下、「対象指数」)の指数値と投資収益に、手数料及び経費控除前で、できるだけ連動する投資成果を上げることを目指します。

2023 年 9 月 30 日に終わる 1 年間(以下、「当年度」)、ファンドは 11.24%上昇する一方、対象指数は 11.37%上昇しました。

ヴァンエックの業種別 ETF のパフォーマンス概要

ヴァンエックの業種別株式に投資する ETF の当年度のトータル・リターンは、下記のグラフ(日本の投資信託及び投資法人に関する法律による届出を行なった 5 銘柄のみを取り上げています)に示す通りです。

ヴァンエック業種別ETFのトータル・リターン
(2022年10月1日～2023年9月30日)



出所: ヴァンエック

注: リターンは、NAV(基準価額)に基づいています。パフォーマンスは過去のパフォーマンスであり、将来の結果を保証するものではありません。ファンドのパフォーマンス情報は、アドバイザーによる手数料の一部放棄や経費の一部負担を反映しています。こうした手数料の放棄や経費の負担がなかった場合には、投資リターンは低下します。ファンドの投資リターンと価値は変動するので、売却時には当初のコストを上回ることも下回ることもあります。現在のパフォーマンスは、上記のパフォーマンスを下回る場合も上回る場合もあります。

バイオテック株 ― 新薬承認数が増加

当年度、バイオ株は 11.24%上昇となりました。2022 年 12 月初旬に高値を付けた後は上下にもみ合いましたが、年間では 2 桁高となりました。大手企業は新型コロナ・ワクチン開発による業績向上の勢いを維持した一方、中小のバイオテクノロジー企業にはそれらの恩恵はなく、困難な年となりました。

米食品医薬品局 (FDA) は 2022 年 9 月までに 26 の新薬を承認し、その後の 3 か月間でも 11 の新薬を承認し、年間の新薬承認数は 37 となりました。2023 年 9 月末までの 1 年間に承認された新薬は 40 となり、前年同期から増加しました。

ファンドのパフォーマンスにプラスに寄与したトップ 3 は、アムジェン (当年度末現在ファンド純資産の 14.4%)、ギリアド・サイエンシズ (同 8.5%)、シーゲン (同 4.9%) でした。一方、ファンドのパフォーマンスを最も押し下げたのはイルミナ (4.1%)、ビオンテック (同 2.8%)、アルナイラム・ファーマシューティカルズ (同 2.7%) でした。

パフォーマンス比較

2023 年 9 月 30 日現在 (未監査)

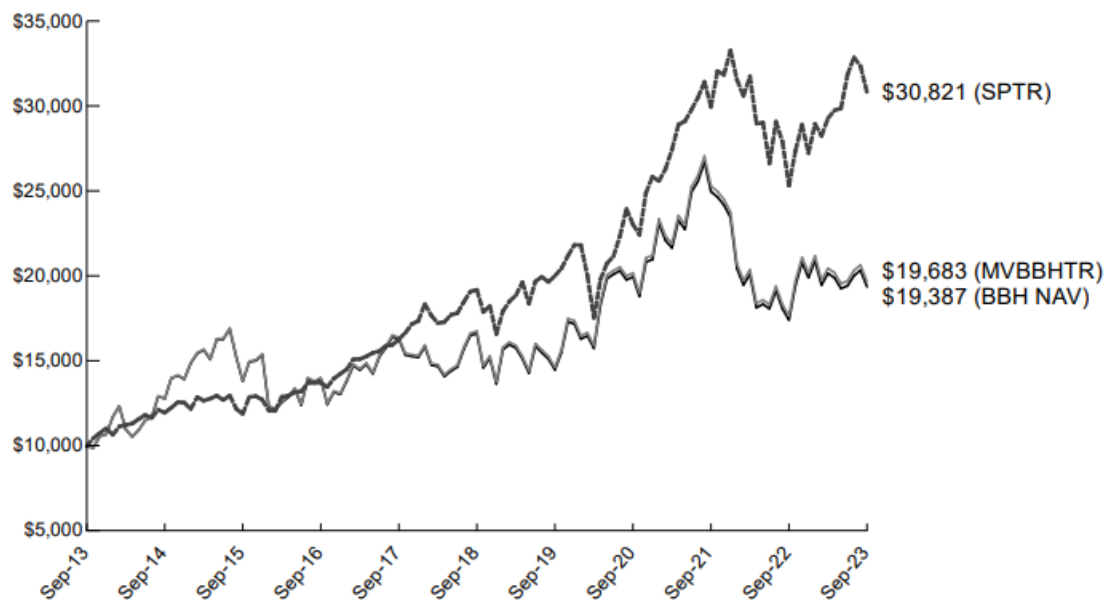
トータル・リターン

平均年間トータル・リターン				
	市場価格	NAV	対象指数 MVBBHTR 1	SPTR 2
1 年	11.13%	11.24%	11.37%	21.62%
5 年	3.13%	3.11%	3.25%	9.92%
10 年	6.85%	6.84%	7.01%	11.91%

1 MVIS 米国上場バイオテック 25 指数(MVBBHTR)は、ルールに基づく修正時価総額加重平均の浮動株調整指数です。この指数は、バイオテクノロジー関連企業の全体的なパフォーマンスを計測することを目的としています。

2 S&P500 指数(SPTR)は企業規模、流動性、所属する産業グループなどにより選定された 500 銘柄で構成される時価総額加重平均指数で、個別銘柄の時価総額で加重平均されます。

[10,000ドルを設定時に投資したと仮定した場合(10 年間)]



パフォーマンスは過去のパフォーマンスであり、将来の結果を保証するものではありません。ファンドのパフォーマンス情報は、アドバイザーによる手数料の一部放棄や経費の一部負担を反映しています。こうした手数料の放棄や経費の負担がなかった場合には、投資リターンは低下します。投資リターンは、分配金及び売却益について税引前の数値です。

ファンドの投資リターンと価値は変動するので、売却時には当初のコストを上回ることも下回ることもあります。パフォーマンスは、記載のパフォーマンスを上回ることも下回ることもあります。ファンドのリターンは、配当金と譲渡益(キャピタルゲイン)からの分配金を再投資したという前提で計算されています。直近の月末までのパフォーマンスについては、電話 800.826.2333 又はウェブサイト vaneck.com でご照会ください。

ファンドを一口単位で償還することはできません。ファンドは、「設定ユニット」と呼ばれる大口の指定された口数で認定ブローカー・ディーラーを通してのみ NAV(基準価額)で発行および償還されます。それ以外の場合は、取引所を通してのみ売買できます。ファンドが市場で取引される際には、NAV にプレミアムまたはディスカウントが付いた価格で取引される場合があります。

ヴァンエック ETF の基準価額(NAV)は、毎日の取引終了時点で計算され、1 口あたりの価額を表わします。基準価額は、ファンドの資産総額から負債総額を差し引いた純資産総額を発行済口数で割ることによって求められます。基準価額は、ETF の日中の取引価格と必ずしも同じではありません。投資家はヴァンエックの ETF を基準価額で売買できるわけではありません。

指数のリターンは配当の再投資を前提としたものであり、ファンドに係る運用手数料や売買経費を反映したものではありません。指数の算出にあたっては、源泉徴収税を考慮に入れているものもあります。指数に直接投資することはできません。実際にファンドに投資した場合のリターンは、投資タイミング、投資額、手数料、経費などの違いにより、記載の数値と異なる場合があります。過去のパフォーマンスは、将来の結果を保証するものではありません。

MVIS 米国上場バイオテック 25 指数は、アドバイザーのヴァンエック・アソシエイツ・コーポレーションの 100%子会社である MV インデックス・ソリューションズ GmbH が提供しています。指数提供者はファンドのスポンサーではなく、ファンドの支持や促進を行なうものでもありません。また、ファンドやいかなる有価証券についても責任を負いません。

市場価格と NAV(基準価額)の乖離率は、市場価格 > NAV の場合はプレミアム、市場価格 < NAV の場合はディスカウントと呼ばれています。ファンドのプレミアム/ディスカウント情報については、当社ウェブサイト www.vaneck.com をご覧ください。

2. 運用状況の推移

(1) 純資産の推移

	純資産総額		基準価額	
	(米ドル)	(日本円)	(米ドル)	(日本円)
2013年9月末日	434,089,449	64,931,099,781	82.74	12,376
2014年9月末日	539,423,072	80,686,903,110	105.84	15,832
2015年9月末日	651,978,392	97,522,927,875	114.45	17,119
2016年9月末日	598,914,337	89,585,606,528	115.25	17,240
2017年9月末日	717,330,433	107,298,286,168	134.17	20,069
2018年9月末日	475,909,023	71,186,471,710	136.11	20,359
2019年9月末日	318,295,214	47,610,598,128	118.04	17,656
2020年9月末日	485,450,211	72,613,642,561	162.01	24,233
2021年9月末日	590,120,413	88,270,211,377	201.99	30,214
2022年9月末日	414,304,408	61,971,653,349	140.61	21,032
2022年10月末日	478,417,043	71,561,621,257	157.04	23,490
2022年11月末日	515,778,455	77,150,141,369	167.92	25,118
2022年12月末日	495,227,441	74,076,120,564	159.93	23,923
2023年1月末日	532,230,216	79,610,995,717	167.82	25,102
2023年2月末日	496,363,689	74,246,080,544	156.51	23,410
2023年3月末日	497,479,055	74,412,917,032	161.97	24,227
2023年4月末日	499,206,679	74,671,335,108	159.93	23,922
2023年5月末日	479,419,483	71,711,566,286	154.83	23,159
2023年6月末日	479,513,834	71,725,679,267	156.12	23,352
2023年7月末日	490,274,337	73,335,235,342	160.93	24,072
2023年8月末日	481,592,067	72,036,541,350	163.45	24,448
2023年9月末日	450,979,380	67,457,495,660	155.70	23,290

(注) アメリカ合衆国ドル(以下「ドル」という。)の円貨換算は、2023年9月29日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1ドル=149.58円)による。以下同じ。

(2) 分配の推移

分配落ち日	支払日	一口当たり分配金	
		(米ドル)	(日本円)
2012年12月24日	2012年12月31日	0.1840	27.52
2013年12月23日	2013年12月30日	0.0030	0.45
2015年12月21日	2015年12月28日	0.3370	50.41
2016年12月19日	2016年12月23日	0.3270	48.91
2017年12月18日	2017年12月22日	0.6830	102.16
2018年12月20日	2018年12月27日	0.5510	82.42
2019年12月23日	2019年12月30日	0.4724	70.66
2020年12月21日	2020年12月28日	0.6079	90.93
2021年12月20日	2021年12月27日	0.3972	59.41
2022年12月19日	2022年12月23日	0.7488	112.01

3. 計算期間の末日における純資産額計算書

(2023年9月30日現在)

		(千米ドル)	(千円)
a	資産総額	451,181	67,487,593
b	負債総額	201	30,098
c	純資産総額(a-b)	450,979	67,457,496
d	発行済口数	2,896,503口	
e	基準価額(c/d)	155.70米ドル	23,290円

4. 投資有価証券の主な銘柄

投資明細書

2023年9月30日現在

銘柄名	株式数(株)	価額(米ドル)
普通株式: 99.9%		
中国: 3.9%		
BeiGene Ltd. (ADR) *	98,066	17,639,131
ドイツ: 2.8%		
BioNTech SE (ADR) *	116,759	12,684,698
アイルランド: 4.5%		
ICON Plc (USD) *	81,772	20,136,355
スイス: 0.7%		
CRISPR Therapeutics AG (USD) * †	71,392	3,240,483
アメリカ: 88.0%		
Alnylam Pharmaceuticals, Inc. *	69,704	12,344,578
Amgen, Inc.	240,831	64,725,740
Argenx SE (ADR)*	41173	20,241,882
Biogen, Inc. *	89764	23,070,246
BioMarin Pharmaceutical, Inc. *	155071	13,720,682
Bio-Techne Corp.	154,049	10,486,115
Charles River Laboratories International, Inc. *	50573	9,911,297
Exact Sciences Corp. *	146538	9,996,822
Gilead Sciences, Inc.	509,072	38,149,856
Illumina, Inc. *	133164	18,280,754
Incyte Corp. *	153888	8,890,110
IQVIA Holdings, Inc. *	108181	21,284,612
Moderna, Inc. *	218701	22,589,626
Natera, Inc. *	111612	4,938,831
QIAGEN NV *	219044	8,871,282
Regeneron Pharmaceuticals, Inc. *	37940	31,223,102
Repligen Corp. * †	49428	7,859,546
Sarepta Therapeutics, Inc. *	94574	11,464,260
Seagen, Inc. *	103373	21,930,582
Vertex Pharmaceuticals, Inc. *	105501	36,686,918
		396,666,841
普通株式合計		
(取得原価: \$469,325,734)		450,367,508

財務諸表に対する注記をご参照ください。

投資合計：99.9%	
(取得原価：\$469,325,734)	450,367,508
その他資産：0.1%	611,872
純資産総額：100.0%	<u>\$450,979,380</u>

ADR 米国預託証券
USD 米ドル

* 無配証券

† 全部又は一部を貸し付けている証券。貸付証券の市場価額の合計は、\$7,078,655。

セクター別投資金額 (貸付証券の担保を除く)	投資割合(%)	価額
バイオテクノロジー	78.5%	\$353,537,547
生命科学工具・サービス	21.5%	96,829,961
	<u>100.0%</u>	<u>\$450,367,508</u>

ファンドの投資評価のインプットは2023年9月30日現在、以下の通りです。

	レベル1 市場価格	レベル2 重要な観察可能なインプット	レベル3 重要な観察不可能なインプット	合計
普通株*	<u>\$450,367,508</u>	<u>\$ -</u>	<u>\$ -</u>	<u>\$450,367,508</u>

* 地域別分布については、「投資明細書」をご参照ください。

財務諸表に対する注記をご参照ください。

5. 計算期間の末日における貸借対照表並びに当該期間中の損益及び剰余金 計算書並びにこれらの注記表

ヴァンエック・バイオテックETF貸借対照表

2023年9月30日現在

	米ドル	円
資産の部:		
投資評価額(1)		
関連会社以外の発行者(2)	\$450,367,508	¥67,365,971,847
貸付有価証券の担保である短期投資(3)	-	-
現金	804,510	120,338,606
外貨建て現金評価額(4)	-	-
未収勘定:		
売却投資有価証券	-	-
売却資本受益証券	-	-
利息及び配当金	8,577	1,282,948
連保・州所得税	-	-
資産の部合計	451,180,595	67,487,593,400
負債の部:		
未払勘定:		
購入投資有価証券	-	-
償還資本受益証券	-	-
貸付有価証券担保	-	-
未払金(アドバイザー)	135,138	20,213,942
未払金(カストディアン)	-	-
繰延理事手数料	64,926	9,711,631
未払費用	1,151	172,167
負債の部合計	201,215	30,097,740
純資産	\$450,979,380	¥67,457,495,660
発行済受益証券数	2,896,503	
基準価額(1口あたりNAV)	\$155.70	¥23,290
純資産内訳:		
払込資本	\$679,177,136	¥101,591,316,003
未分配投資純利益(損失)	(228,197,756)	(34,133,820,342)
純資産	\$450,979,380	¥67,457,495,660
(1) 貸付有価証券評価額	\$7,078,655	¥1,058,825,215
(2) 投資原価 - 関連会社以外の発行者	\$469,325,734	¥70,201,743,292
(3) 貸付有価証券担保の短期投資原価	\$-	¥-
(4) 外貨建て現金原価	\$-	¥-

財務諸表に対する注記をご参照ください。

ヴァンエック・バイオテックETF損益計算書

2023年9月30日に終わる年度

	米ドル	円
収益:		
配当金	\$3,854,084	¥576,493,885
利息	12,061	1,804,084
有価証券貸付収益	15,463	2,312,956
外国税源泉徴収額	—	—
収益合計	3,881,608	580,610,925
費用:		
運用手数料	1,720,048	257,284,780
利息	12,555	1,877,977
費用合計	1,732,603	259,162,757
投資純利益(損失)	2,149,005	321,448,168
実現純利益(損失)内訳:		
投資	(29,863,524)	(4,466,985,920)
現物償還	43,634,399	6,526,833,402
外国通貨取引及び外貨建て資産・負債	—	—
実現純利益(損失)	13,770,875	2,059,847,483
未実現評価益(評価損)の変動内訳:		
投資	29,952,104	4,480,235,716
外国通貨取引及び外貨建て資産・負債	—	—
未実現評価益(評価損)の純変動	29,952,104	4,480,235,716
運用による純資産の純増(純減)	\$45,871,984	¥6,861,531,367

財務諸表に対する注記をご参照ください。

ヴァンエック・バイオテックETF純資産変動計算書

2023年9月30日に終わる年度

	米ドル	円
運用:		
投資純利益(損失)	\$2,149,005	¥321,448,168
実現純利益(損失)	13,770,875	2,059,847,483
未実現評価益(評価損)の純変動	29,952,104	4,480,235,716
運用による純資産の純増(純減)	45,871,984	6,861,531,367
受益証券保有者への分配:		
未分配収益	(2,299,941)	(344,025,175)
受益証券の資本取引:**		
受益証券売却受取額	146,025,652	21,842,517,026
受益証券償還費用	(152,922,723)	(22,874,180,906)
受益証券の資本取引による純資産の純増(純減)	(6,897,071)	(1,031,663,880)
純資産の増加(減少)	36,674,972	5,485,842,312
期首純資産	414,304,408	61,971,653,349
期末純資産†	\$450,979,380	¥67,457,495,660
** 受益証券(無額面)の発行および償還口数		
受益証券売却口数	900,000口	
受益証券償還口数	(950,000口)	
純増(純減)	(50,000口)	

財務諸表に対する注記をご参照ください。

ヴァンエック・ベクトル・バイオテックETF純資産変動計算書

2022年9月30日に終わる年度

	米ドル	円
運用:		
投資純利益(損失)	\$2,058,616	¥307,927,781
実現純利益(損失)	(52,444,228)	(7,844,607,624)
未実現評価益(評価損)の純変動	(130,892,741)	(19,578,936,199)
運用による純資産の純増(純減)	(181,278,353)	(27,115,616,042)
受益証券保有者への分配:		
未分配収益	(1,180,281)	(176,546,432)
受益証券の資本取引:**		
受益証券売却受取額	91,504,466	13,687,238,024
受益証券償還費用	(84,861,837)	(12,693,633,578)
受益証券の資本取引による純資産の純増(純減)	6,642,629	993,604,446
		0
純資産の増加(減少)	(175,816,005)	(26,298,558,028)
期首純資産	590,120,413	88,270,211,377
期末純資産†	\$414,304,408	¥61,971,653,349
** 受益証券(無額面)の発行および償還口数		
受益証券売却口数	575,000口	
受益証券償還口数	(550,000口)	
純増(純減)	25,000口	

財務諸表に対する注記をご参照ください。

財務諸表に対する注記

ヴァンエック ETF トラスト

2023 年 9 月 30 日

注1 ファンド概要

ヴァンエック ETF トラスト(以下、「トラスト」)は、1940 年投資会社法(修正を含む)において登録されたオープン・エンド型投資会社です。トラストは、デラウェア州の法定信託として 2001 年 3 月 15 日に設定されました。トラストはシリーズ・ファンドとして運営されており、複数の投資ポートフォリオを別々のトラストで提供しています。

以下、ヴァンエック・バイオテック ETF(以下、「ファンド」ないし「当ファンド」)に関する事項のみを記述します。

ファンドの分散分類は非分散型です。

ファンドの投資目的は、対象指数の指数値と投資収益に、手数料及び経費控除前で、できるだけ連動する投資成果を上げることです。

対象指数は、MVIS 米国上場バイオテック 25 指数です。

ファンドは、投資家に有価証券のポートフォリオを買い入れる機会を提供することを目的として設立されました。ファンドのポートフォリオは連動対象指数の実質的にすべての銘柄によって構成されており、その構成ウェイトも指数と実質的に同じです。

ヴァンエック・アソシエイツ・コーポレーション(アドバイザー)は当ファンドの投資アドバイザーです。

注2 重要な会計方針

米国で一般に認められた会計基準(以下「米国 GAAP」)に準拠した財務諸表の作成には、運用者が財務諸表において報告される数値と開示事項に影響する見積りと仮定を行うことが求められます。実際の結果は、見積りと異なる場合があります。

ファンドは投資会社であり、会計基準集(ASC)946 金融サービス―投資会社の会計及び報告要件に従っています。

以下は、ファンドが従っている重要な会計方針の要約です。

A 有価証券の評価

ファンドは、投資有価証券とその他の資産及び負債を公正価値で毎日評価します。公正価値とは、市場参加者間の評価日時点での秩序ある取引において、資産の売却により受け取る価格、または、負債の移転により支払われる価格のことです。ファンドは、投資有価証券の公正価値を評価するために、評価手法のインプットを優先付ける公正価値のレベル段階などさまざまな方法を継続的に用います。公正価値のレベル段階は、活発な市場で取引されている同一資産及び負債の調整前の価格に最高の優先順位(測定レベル 1)を、観察不可能なインプットには最も低い優先順位(測定レベル 3)を与えます。有価証券の評価に用いられるインプットないし方法は、必ずしもそれらの有価証券投資に伴うリスクを示すものではありません。金融商品の公正価値のレベル段階を変更する場合には、その変更が期首に行なわれたとみなします。公正価値のレベル段階の 3 レベルは、以下の通りです。

レベル 1 — 同一有価証券の活発な市場における相場価格

レベル 2 — 重要な観察可能なインプット(類似有価証券の相場価格、金利、期前償還スピード、信用リスクなどを含む)

レベル 3 — 重要な観察不可能なインプット(投資有価証券の公正価格を決定する際のファンド自身の仮定を含む)

米国の証券取引所で取引されている有価証券は、各証券の取引市場の終値で評価されます。NASDAQ 市場で取引されている有価証券は、NASDAQ の公式終値で評価されます。NASDAQ ナショナル・マーケット・システムに含まれていない店頭有価証券や売買のなかった上場有価証券は、買気配と売気配の平均で評価されます。これらの有価証券が活発に取引されていれば、公正評価のレベル段階(下記)においてレベル 1 に分類されます。マネーマーケット・ファンドは純資産額で評価され、公正価値のレベル段階でレベル 1 とみなされます。債券は、独立した価格サービスによって提供される評価価格、又は証券ディーラーが提供する評価価格に基づいて評価されます。価格サービスは以下の要素を考慮した評価モデルないし価格表を利用することがあり、その場合は公正評価のレベル段階においてレベル 2 に分類されます。考慮する要素は、(i) 格付け、利率、満期日などの属性において同類と考えられる債券の利回り又は価格、(ii) 現在価値を決めるための債券取引業者からの気配値です。満期までの期間が 60 日以下の短期有価証券は、償還差損処理(アモチ計算)により評価されます。これに経過利息を加えると、公正価値にほぼ等しくなります。価格委員会は、理事会が承認したファンドの評価方針と手順を監視します。このような手順によって、ファンドは、独立した評価会社の価格評価サービス、金融商品取引業者の気配値、その他の市場情報ソースを使って公正価値を決定することができます。価格委員会は定期的に会合して、金融商品やその他資産の公正価値をレビューします。有価証券やその他資産の相場価格が

容易に入手できない場合、または、相場価格が有価証券やその他資産の公正価値を反映していないとアドバイザーが考える場合、価格委員会はファンドの評価方針と手順に基づいて有価証券やその他資産の公正価値を決めます。価格委員会は、主要なインプットや仮定、取引のバックテストや売却分析の検討を定期的に行うなど、さまざまな方法を使って公正価値を決定します。これらの有価証券の公正価値の決定にあたっては、経済状況、政治イベント、相場動向、売却制限の性質と期間、同一発行体ないしは類似発行体の類似有価証券の取引状況、その他有価証券に特定の情報などの要素が用いられます。これらの有価証券は、評価インプットの相対的な重要性により、公正価値のレベル段階のレベル2又はレベル3に分類されます。実際にファンドが投資有価証券を売却した場合の価格は、投資明細書に示す金額と実質的に異なる場合があります。

投資明細書には、ファンドの投資有価証券の評価に使われたインプットとレベル及びレベル間移行の概要を記載しています。また、レベル3の投資有価証券がある場合には、その評価と関連取引、評価方法と観察不可能なインプットに関する情報を示した表を掲載しています。

B 連邦所得税

ファンドは、規制対象投資会社に適用される内国歳入庁の規定に従って、すべての課税対象所得を分配する方針です。従って、連邦所得税準備金は不要です。

C 受益者への分配金

投資純利益からの分配は、少なくとも月1回決定され支払われます。実現純譲渡益からの分配は、おおむね年1回決定され支払われます。投資利益と譲渡益の分配金は米国所得税規則により決定されますが、それは米国 GAAP により算出される金額と異なる場合があります。

D 通貨取引

外国通貨建ての資産及び負債と外国為替先渡し契約に係る約定額は、単一ないし複数の情報ソースによる各営業日の終値で米ドルに換算されます。投資有価証券の売買金額は、売買時点の為替レートで換算されます。外貨建ての所得及び経費は発生時点の為替レートで換算されます。外国為替レートの変動によって生じた投資の実現損益及び未実現損益は、財務諸表においてその部分だけ分離して開示されることはありません。投資以外の外国通貨建て資産及び負債の外国為替レートの変動による実現損益は、損益計算書において、外国通貨取引及び外貨建て資産・負債の実現純利益(損失)として記載されます。

E 売却制限付き有価証券

ファンドは、法規制上又は契約上の売却制限のある有価証券に投資する場合があります。これらの有価証券は、登録なしの取引ないし登録すれば公募で売却できる場合があります。これらの有価証券の売却には、時間を要する交渉と経費が必要な場合があります、納得できる価格で迅速に売

却するのが困難な場合があります。売却制限のある有価証券がある場合には、その情報をファンドの投資明細書の末尾に記載しています。

F マスター・リミテッド・パートナーシップ

当ファンドは該当しません。

G 資産と負債の相殺

通常業務において、ファンドは法的強制力のある相殺契約又は類似の契約による取引を行なうことがあります。一般に、そのような相殺契約によって、ファンドは特定の相手方に対するエクスポージャーをその相手方との間で授受した担保で契約の条項に基づいて相殺することができます。ファンドは現金及び(又は)有価証券を派生商品、有価証券貸付、買戻し契約の担保として授受することがあります。ファンドの財務諸表では、貸借対照表において有価証券貸付や買戻し契約の資産と負債をグロス・ベースで記載しています。2023年9月30日現在の担保は、投資明細書に記載しています。現金以外の担保は注9(有価証券の貸付)をご参照ください。

H その他

有価証券取引は、約定日ベースで計上されます。実現損益は、個別原価法に基づいて計上されます。配当金は、配当落ち日に計上されます。但し、外国有価証券の一部の配当は配当落ち日の通知があった時点で計上されます。金利収入は、償還差損処理を含めて発生ベースで計上されます。

ファンドはカストディアン銀行にある投資されない現金残高から利息収入を受け取ります。これらの金額は損益計算書の金利収入として記載されます。

投資から受け取る分配金の性質は、純投資収益、キャピタルゲイン、および資本の戻りで構成される場合があります。実際の金額が入手できない場合、過去のデータに基づいてこれらの投資から受け取った分配金の性格を推定することがファンドの方針です。これらの投資からの分配金の税法上の性質は毎年度毎に報告されます。見積額と実際の金額の差は、必要に応じて投資、キャピタルゲイン、収入の関連原価基準を調整することにより、ファンドの記録に反映されます。

通常業務において、ファンドは、さまざまな一般補償条項の入った契約を締結しています。これは、ファンドに対して要求される可能性はあるが、現在はまだ発生していない将来の請求に関するものであるため、その最大リスク量は未確定です。しかし、アドバイザーは、これらの取決めに關して損失が発生するリスクは極めて低いと考えます。

注3 投資顧問及びその他の契約

アドバイザーはファンドの投資顧問で、運用手数料を受領します。運用手数料はファンドの日々の平均純資産額に運用手数料率を乗じて毎日計算され、月1回支払われます。アドバイザーは、少なくとも2024年2月1日までは、ファンドの年間の経費（取得したファンドの手数料及び経費、支払利息、取引手数料、税、特別経費を除く）が下記の経费率上限を超えないように、運用手数料を放棄し、ないし、経費を支払うことに契約上合意しています。

当ファンドは統一の運用手数料（マネジメント・フィー）体系を採用しており、投資管理契約に基づく手数料の支払い、取得したファンドの手数料および費用、支払利息、取引費用、税金および特別費用を除き、アドバイザーがすべてのファンド費用を支払います。

2023年9月30日に終わる年度の統一運用手数料率は0.35%です。

これに加えて、アドバイザーの関連会社であるヴァンエック・セキュリティーズ・コーポレーションは、ファンドの販売会社です。トラストの役員及び理事の中には、アドバイザーや販売会社の役員、取締役、株主を兼ねている者もいます。

注4 資本取引

2023年9月30日現在、トラストによって承認された無額面の受益権の無制限の数の資本株式がありました。ファンドの株式は、個別に償還することはできず、特定の認可されたブローカー/ディーラー（「認可された参加者」）を通じてのみ、株式のブロック（「設定ユニット」）で発行され、1株あたりの純資産価値で償還されます。

ファンドの設定ユニット数の発行又は償還の対価は通常、ファンドの対象指数を構成する有価証券の現物（以下、「現物証券」）と少額の現金です。少額の現金は、発行又は償還総額が資本取引日のファンドのNAVと等しくなるように計算された金額です。現物証券の一部に十分な流通量がない場合、現物証券の一部を認定ブローカー・ディーラーが取引できない場合、その他相場状況によっては、現物証券の一部の価額に等しい金額の現金を現物証券の代替として用いることがあります。ファンドは現物証券を受け取る前に設定ユニット数を発行することがありますが、その場合は、現物証券の時価の最低115%（毎日、値洗いされます）に相当する米ドル建ての現金をファンドのカストディアンに預託するなど、さまざまな要件を満たす必要があります。

設定ユニット数を買入・償還する認定ブローカー・ディーラーは、取引手数料を直接譲渡代理人（ステートストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー）に支払います。この取引手数料に加えて、ファンドは設定ユニット数の発行・償還に関してさまざまな手数料を課すことがあります。これらの手数料は資本の増加として取り扱われ、純資産変動計算書の資本取引に反映されます。

注 5 投資

2023 年 9 月 30 日に終わる年度について、米国債及び短期債を除く投資の取得原価と売却額、及び、短期投資を除く資本取引は下記の通りです。

投資の取得原価	投資の売却額	現物発行による 投資額	現物償還による 売却額
\$95,513,704	\$89,125,673	\$145,977,091	\$159,815,647

注 6 所得税

2023 年 9 月 30 日現在、連邦所得税法上の投資原価、未実現益、未実現損、ネット未実現損益は下記の通りです。

投資原価	未実現益	未実現損	ネット未実現損益
\$473,065,193	\$40,652,524	(\$63,350,209)	(\$22,697,685)

2023 年 9 月 30 日現在、ファンドの税法上の留保利益(損失)は下記の通りです。

未分配 通常所得	累積譲渡損	適格年末 損失*	その他 一時的相違	未実現益 (未実現損)	合計
\$1,406,112	(\$206,841,257)	—	(\$64,926)	(\$22,697,685)	(\$228,197,756)

2023 年 9 月 30 日に終わる年度、2022 年 9 月 30 日に終わる年度において支払われた分配金の税法上の性質は下記の通りです。

	通常所得
2023 年 9 月 30 日に終わる年度	\$2,299,941
2022 年 9 月 30 日に終わる年度	\$1,180,281

2023 年 9 月 30 日現在、将来の譲渡益と相殺できるファンドの繰越損失は下表の通りです。

期限のない短期譲渡損失	期限のない長期譲渡損失	合計
(\$46,630,272)	(\$160,210,985)	(\$206,841,257)

2023 年 9 月 30 日に終わる年度について、主に譲渡損失繰り延べ期限終了などによる会計上と税務上の相違の結果、ファンドの未分配投資純利益(損失)、累積実現純利益(損失)、払込済総資本

には下記の相違があります。純資産は、これらの相違の影響を受けません。

未分配投資純利益(損失)の増加(減少)	(\$43,402,524)
払込済総資本の増加(減少)	\$43,402,524

ファンドは、税務当局の調査があった際に認定されると思われる場合のみに、税務上利益とみなされる可能性のあるポジションを利益と認識します。運用者はファンドの税務上のポジションを分析し、税申告修正可能年度の納税報告書と今年度の納税報告書に関し、認識されていない税務上の利益に関する負債はないと結論付けました。また、ファンドは外国の税申告修正可能年度についても、認識されていない税務上の利益に関する負債はありません。従って、ファンドの財務諸表に所得税準備金は必要ありません。しかし、一部投資の譲渡益及び未実現益については外国税が適用されており、ファンドはそのような外国税を支払っています。

ファンドは、課税資産に係る利息や罰金があった場合には、その金額を損益計算書で所得税経費として認識します。2023年9月30日に終わる年度について、そのような利息や罰金はありませんでした。

注7 主なリスク

非分散ファンドは分散ファンドよりも一般に少ない数の発行体の有価証券に投資しており(注1ご参照)、特定の発行体ないし特定の発行体に影響のある単一の経済・政治・規制上の出来事に関連したリスクを受けやすいことがあります。さらに、ファンドが特定のセクターまたは業界に集中している場合、ファンドは、それらのセクターや業界に悪影響を及ぼす経済的、政治的、またはその他の状況が、ファンドの資産がより幅広いセクターまたは業界に投資されている場合よりも、ファンドに悪影響を及ぼすリスクにさらされます。ファンドは外国証券取引所の有価証券を買い入れることがあります。外国の発行体の有価証券には、通常米国の発行体にはない特別のリスクがあります。これらのリスクは、通貨切り下げ、為替管理、発行体についてのあまり信用できない情報、有価証券取引及び決済慣行の相違、将来の不都合な経済・政治的な動き、内戦ないし地域紛争、昨今のコロナウイルス感染拡大などです。このようなリスクは、新興市場国の投資において増幅されます。政治的リスクには、不安定な政府、国有化、外国人所有の制限、投資家が国外にお金を持ち出すことを妨げる法律、制裁および投資制限、財産リスクを保護しない法制度、および米国の法律が含まれる場合があります。これらの要因やその他の要因により、新興市場の証券は、より発展した市場で発行された証券よりも不安定になり、流動性が低下する可能性があります。中国の発行体の特定の証券は制限されているか、将来的に制限される可能性があり、ファンドはそのような制限された証券の売却を余儀なくされ、結果として損失を被る可能性があります。

ファンドの投資の一部(相当量のデジタル資産を保有する企業への投資を含む)は、暗号通貨や

暗号トークンを含むデジタル資産への投資に伴うリスクにさらされる可能性があります。こうした企業は、デジタル資産の移転を容易にする技術が機能しなくなる可能性がある、該当するブロックチェーン ネットワークの分散型オープン ソース プロトコルが、インターネット接続の中断、詐欺、合意の失敗、またはサイバーセキュリティ攻撃の影響を受ける可能性がある、このようなネットワークが参加者によって適切に維持されない可能性がある、デジタル資産は歴史が限られている新しい技術革新であるため、非常に投機的な資産であり、極端な価格変動を経験する可能性がある、将来の規制措置または政策により、デジタル資産の販売、交換、または使用が制限される可能性がある、デジタル資産の価格は、そのようなデジタル資産の少数の保有者の取引によって影響を受ける可能性がある、デジタル資産の人気、受容、または使用が低下し、それによって価格が下落する可能性があるなどのリスクにさらされる可能性があります。

リスクのより完全な説明は、各ファンドの目論見書および追加情報ステートメント(S.A.I.)に含まれています。

注8 理事報酬繰延プラン

理事の報酬については繰延プランがあり、理事は手数料の受取りを引退、就業不能、任期満了時まで延期することができます。受取りを延期された理事手数料については、理事の指示によりファンドに投資されたとみなされます。

2021 年 10 月 1 日付で、当ファンドに対して統一管理手数料が採用されました。貸借対照表に「繰延理事手数料」として表示される負債は、2021 年 9 月 30 日までに発生した金額を表します。

注9 有価証券の貸付

追加的な収入を獲得するため、ファンドは保有する有価証券を貸し付けることができます。ファンドは投資有価証券の 33%までを貸し付けることができます。貸付にあたっては、現金、米国債、米国政府機関債、投資信託が継続して担保として提供され、これらの担保の価値が貸し付けられた有価証券の時価総額と経過利息の 102%(外国有価証券の場合は、105%)以上であることを要件とします。毎日の価格変動により貸付有価証券の評価額が担保の評価額を上回る場合も下回る場合もあります。この場合、担保額は調整されて翌営業日に決済されます。貸付の期間中も、ファンドは貸し付けられた有価証券の配当金及び利息又はその相当額を引き続き受け取る一方、借り手から手数料ないし現金担保による投資の利息を受け取ります。そのような手数料と担保の利息は、有価証券貸付契約書の条項により、有価証券貸付代理人と分け合います。ファンドは有価証券の貸付にあたって手数料を支払うことがあります。有価証券の貸付けによる収入は、損益計算書において開示されています。貸し付けられた有価証券の担保については、投資明細書と貸借対照表で開示されています。現金担保は貸付代理人が管理し、ステイトストリート・ナビゲーター・セキュリティズ・レンディング・ガバメント・マネーマーケット・ポートフォリオに投資されます。貸

付は、借り手又はファンドのオプションで解約できます。解約にあたっては、借り手は貸し付けられた有価証券と同一の有価証券を貸し手に返還します。有価証券の借り手が財務上破綻した場合、貸し付けられた有価証券の回収が遅れるリスク、さらには権利を失うリスクを負います。2022 年 9 月 30 日現在の貸付有価証券評価額と担保金額は、投資明細書と貸借対照表にグロスで示されています。

2023 年 9 月 30 日現在、有価証券貸付と担保の概要は下表の通りです。

投資貸付証券の 市場価額	現金担保	現金以外の担保	担保合計
\$7,078,655	\$-	\$7,278,575	\$7,278,575

2023 年 9 月 30 日現在、担保として保有するマネー・マーケット・ファンドとその有価証券種類別内訳は下表の通りです。

貸借対照表における貸付有価証券担保の負債*	
社債	株式
\$-	\$-

* 契上の満期:翌日、自動更新

注10 銀行クレジット・ライン

ファンドは、ポートフォリオ有価証券の売買が決済するまでの一時的な金融、受益権者の求めに応じたファンドの買い戻しや償還、その他の一時的かつ緊急目的のために利用することができる 200 百万ドルの信用枠に参加しています。ファンドは未使用残高に基づいて手数料を支払うことを約しています。ファンドは、借入時の金利に基づく利息を支払います。2023 年 9 月 30 日に終わる年度において、ファンドはこの信用枠を 186 日間利用しており、日次平均ローン残高は\$409,280 で、平均貸付金利は 5.91%です。2023 年 9 月 30 日現在のファンドのローン残高がある場合は貸借対照表に反映されています。

注11 株式分割

当ファンドは該当しません。

注12 新しい規制要件

2022 年 10 月 26 日、米国証券取引委員会(SEC)は、フォーム N-1A に登録されている投資信託およびETFについて、期末から 60 日以内に、投資家に重要な情報を伝えるカスタマイズされた(未監査の)年次および半期株主レポート (TSR)を作成して提出することを義務付ける規則およびフォ

ームの修正を採択しました。新しい TSR は、ファンドごとに個別に作成されます。これらの修正に関連して、以前はファンド株主レポートで開示されていた特定の情報は、代わりにオンラインで公開され、要求に応じて無料で提供され、フォーム N-CSR で半期ごとに提出されます。

SEC はまた、投資会社法に基づく規則 30e-3 を改正し、投資信託と ETF に、投資家に TSR を郵送で直接提供することを義務付けました。ただし、(投資家が電子配信を選択した場合を除きます。これらの規則は 2023 年 1 月 24 日に発効し、遵守日は 2024 年 7 月 24 日です。